

令和5年(2023)12月 入域観光客数概況(確定版)

66万6,700人

対前年(R4)同月比 +3万1,700人、+5.0%

～12月としては復帰後4番目、対前年同月比で25ヶ月連続の増加～

※(R元年度)同月比 ▲8万8,400人、▲11.7%

【更新履歴】①令和6年1月25日速報版公表

②令和6年3月25日確定版公表

※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、3月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を3枚目に追加しています。

※外国人観光客数の確定値については、国別内訳集計時における四捨五入の関係で、速報版とは一致しません。

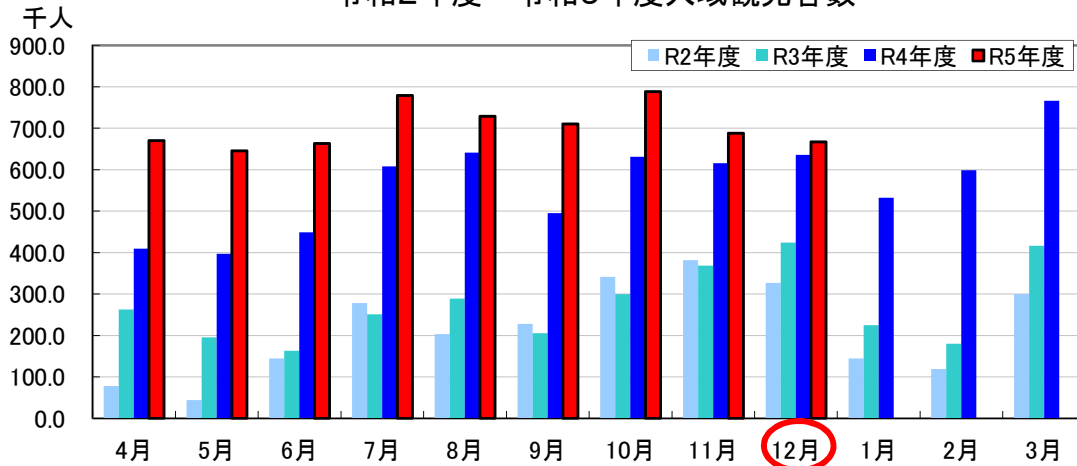
入域状況

入域観光客数(令和4年度との比較)

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
国内客	571,500人	602,200人	△30,700人	△5.1%	85.7%
外国客	95,200人	32,800人	+62,400人	+190.2%	14.3%
合計	666,700人	635,000人	+31,700人	+5.0%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等2,800人を含む。

令和2年度～令和5年度入域観光客数



国内客 入域状況

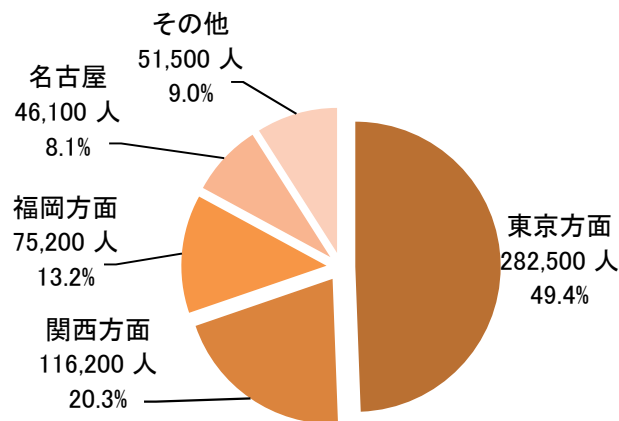
12月は、修学旅行シーズンであること、国内でも人気のNAHAマラソンが通常開催されたことのほか、横浜発大型クルーズ船の寄港や年末年始需要を見込んだ航空会社による増便・臨時便や地方発着チャーター便等があったものの、昨年の全国旅行支援(第1期(10/11～12/27))の反動減等により、前年同月を下回った。

国内客 地域別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	282,500 人	297,800 人	△ 15,300 人	△ 5.1%	49.4%
関西方面	116,200 人	124,200 人	△ 8,000 人	△ 6.4%	20.3%
福岡方面	75,200 人	75,300 人	△ 100 人	△ 0.1%	13.2%
名古屋	46,100 人	55,700 人	△ 9,600 人	△ 17.2%	8.1%
その他	51,500 人	49,200 人	+ 2,300 人	+ 4.7%	9.0%
合計	571,500 人	602,200 人	△ 30,700 人	△ 5.1%	100.0%

※国内海路客5,000人含む。

国内客の地域構成比



各方面ごとの概況と見通し

東京

12月は、修学旅行シーズンであること、NAHAマラソンが通常開催されたこと等のほか、年末年始需要を見込んだ航空会社による増便・臨時便があったものの、昨年の全国旅行支援の反動減等により、前年同月を下回った。また、令和元年同月に対しては上回った。

関西

12月は、修学旅行シーズンであること、NAHAマラソンが通常開催されたこと等のほか、年末年始需要を見込んだ航空会社による増便があったものの、昨年の全国旅行支援の反動減等により、前年同月を下回った。また、令和元年同月に対しては上回った。

福岡

12月は、修学旅行シーズンであること、NAHAマラソンの通常開催等があったものの、昨年の全国旅行支援の反動減等により、前年同月をわずかに下回った(△0.1%)。また、令和元年同月に対しては上回った。

名古屋

12月は、修学旅行シーズンであること、NAHAマラソンが通常開催されたこと等のほか、年末年始需要を見込んだ航空会社による季節運航(名古屋-宮古/石垣(12/22~1/8))があったものの、昨年の全国旅行支援の反動減や昨年同時期に運航されていた名古屋-石垣便運休等で前年同月を下回った。

外国客 入域状況

12月は、クルーズ船の寄港が減少したものの、航空路線では11月末に再開した那覇－シンガポール便が好調であること、一時運休していた那覇－北京便が再開(12/23～)したことのほか、クリスマス休暇、年末年始による旅行需要により、外国客数は堅調に推移した。

1月以降について、年始、春節等による旅行需要が期待できるほか、クルーズ船寄港回数が大きく増加していること、航空路線においては、1月に那覇－高雄(台湾)便の再開や那覇－台北便、那覇－上海便の増便があったこと、3月以降も那覇－釜山便の再開、那覇－バンコク便の新規就航等が予定されていることから、回復基調が続くものと見込まれる。

- トピック**
- ▶【台湾】冬休み(1月下旬～2/14)にDINO恐竜PARKやこどもの国などを巡る親子向けツアー、ホエールウォッチングを組み込んだツアーが販売される。
 - ▶【韓国】ジンエアーが那覇－釜山便の再開(3/29～)、下地島－仁川便の新規就航(5/29～)を予定。下地島空港においては4年ぶりの国際線再開となる。
 - ▶台湾、香港等で、春節に係る沖縄向けのツアー商品、クルーズ商品が複数販売された。沖縄観光コンベンションビューローの調査では、春節期間中(2/8～17)に台湾、韓国、香港、中国の4方面から約33,000人が来沖した。

外国客 国籍別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
台湾	35,700人	10,400人	+25,300人	+243.3%	37.5%
韓国	26,900人	12,300人	+14,600人	+118.7%	28.3%
中国本土	4,200人	200人	+4,000人	+2000.0%	4.4%
香港	16,300人	7,500人	+8,800人	+117.3%	17.1%
アメリカ	2,000人	800人	+1,200人	+150.0%	2.1%
タイ	400人	100人	+300人	+300.0%	0.4%
シンガポール	2,600人	200人	+2,400人	+1200.0%	2.7%
その他	7,100人	1,300人	+5,800人	+446.2%	7.5%
合計	95,200人	32,800人	+62,400人	+190.2%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等2,800人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R5年度	R4年度	増減率	構成比	R5年度	R4年度	増減率	構成比
台湾	35,500人	10,400人	+241.3%	39.9%	200人	0人	皆増	3.2%
韓国	26,800人	12,300人	+117.9%	30.1%	100人	0人	皆増	1.6%
中国本土	4,100人	200人	+1950.0%	4.6%	100人	0人	皆増	1.6%
香港	14,300人	7,500人	+90.7%	16.1%	2,000人	0人	皆増	32.3%
アメリカ	1,700人	800人	+112.5%	1.9%	300人	0人	皆増	4.8%
タイ	400人	100人	+300.0%	0.4%	0人	0人	—	0.0%
シンガポール	2,600人	200人	+1200.0%	2.9%	0人	0人	—	0.0%
その他	3,600人	1,300人	+176.9%	4.0%	3,500人	0人	皆増	56.5%
合計	89,000人	32,800人	+171.3%	100.0%	6,200人	0人	皆増	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等2,800人を含む。

外国客の地域構成比

